

# 佐賀市 19 歴史探訪

## こせまちしゅりた ぐんざかいし 巨勢町修理田の「郡境石」

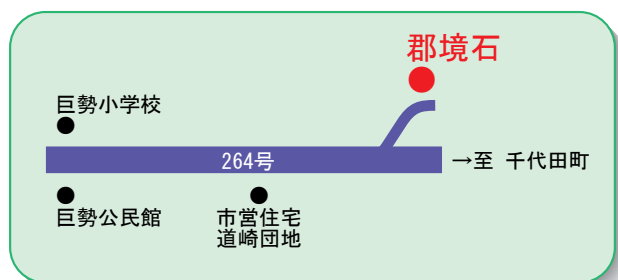
今回は佐賀城下を少し離れたと思います。場所は巨勢町修理田の国道264号線沿いの「旧長崎街道」部分。佐賀市と千代田町の市町境に「従是 東 神埼郡、西 佐嘉郡」と書かれた「郡境石」があります。この標石の規模は20センチ角で、高さは2メートル弱。本来、旧長崎街道に近接していたものと考えられますが、現在は道から5～6メートル北に離れて建っています。

これがいつの頃の所産なのか、資料がなかったのでも明らかにできませんでしたが、歴史の専門家の先生方で以下のような論議がありました。

- 「さが」を表記する際、「嘉」の文字が用いられているので、藩政期の所産の可能性もある。
- 確実に藩政期の所産である「くにざかいし国境石」と、この「郡境石」の規模・形状に差があり、藩政期の所産でない可能性もある。
- 仮に藩政期の所産とするならば、明治期に見られるような、強い「郡境」意識が藩政期にもあったのかどうか。

などなどの論議がなされましたが、結論は出ませんでした。

江戸時代のものであれ、近代のものであれ、旧長崎街道筋の歴史遺産として大切にしたいものです。



※この情報は、「市報さが 平成13年10月15日号」に掲載されたものに、平成22年3月に加筆修正を加えたものです。